



(1,500円)

実用新案登録願 願書 2 号 参記可な

昭和 48 年 12 月 10 日

特許庁長官殿

1. 考案の名称

鳥 籠 造

2. 考案者

住所 大阪府豊中市服部寿町1の4の13

氏名 湯 川 康 夫

3. 実用新案登録出願人

住所 大阪府門真市大字三ツ島10番地

名称 千代田紙工業株式会社

代表者 川 口 勝 一

4. 代理人

住所 〒550 大阪府大阪市西区阿波座南通1丁目11番地

アマンビル 電話大阪 06 (532) 4025 (代)

氏名 (6808) 代理人 森 本 義 弘

方 式 査  
審



5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通  
(2) 図 面 1 通  
(3) 委 任 状 1 通

(4) 願 書 副 本 1 通

48 143793

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

#### 包装構造

### 2. 実用新案登録請求の範囲

方形台紙の略中心位置に内容物を設置し、該台紙に周部を接着した袋状の樹脂フィルムで被覆固定し、該台紙には裏面から前記内容物を出し入れする窓の切込み扉を設けると共に、相並行する台紙両側部を夫々裏面側に折り重ねて前記窓の両側部を遮蔽し、台紙両側部の並行方向の台紙両端部を夫々裏面側に折り曲げて前記内容物を挟持し、包装用箱に収容するようにしたことを特徴とする内容物の包装構造。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は携帯ラジオ、写真機等の包装構造に関する。従来これらの内容物は発泡樹脂その他の緩衝材を用いて包装していたので材料費が高んだが本考案はコストの安い簡易な包装構造を提案しようとするものである。

以下に本考案の包装構造を実施の例示図に基い

て説明する。第1図、第2図において(1)は方形の台紙であつてその略中心位置に携帯ラジオ等の内容物(2)を載置しこの台紙(1)に周部を接着した袋状の樹脂フィルム(3)で被覆固定してある。台紙(1)には裏面から内容物(2)を出し入れする窓(4)の切込み扉(5)を設けてある。この台紙(1)の相並行する両側部(6)を夫々裏面側に折り重ねて窓(4)の両側部を遮蔽し、台紙両側部(6)の並行方向の台紙両端部(7)を夫々表面側に折り曲げて前記内容物(2)を挟持し、第3図、第4図に示すように包装用箱(8)に収容する。内容物(2)は台紙(1)上に固定され、前後左右を折曲した台紙(1)によつて包装用箱(8)の内面と隔てられている。なお裏面側に折り重ねた台紙両側部(6)の前記台紙両端部(7)で表面側に折り曲げられる角部(6a)に夫々切込み線を設け、この台紙両側部(6)が接当する包装用箱(8)の底面および両側面に、対する緩衝機能を大きくするようにしてもよい。

本考案による内容物の包装構造は以上のように実施し得るものであつて、内容物を固定した台紙は、4側方で折曲してあるので包装用箱の側面方

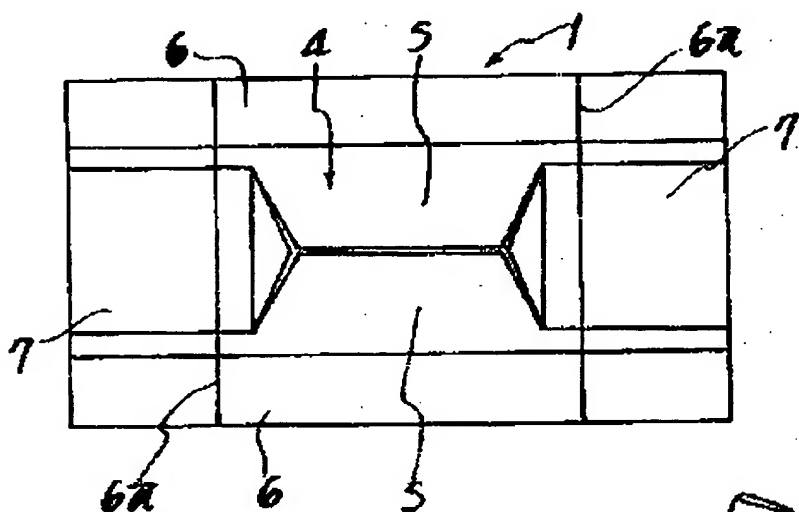
向に加わる押圧力に強く、また台紙両側端部は内容物を挟持して表面側に折曲してあつて包装箱の上下方向に加わる押圧力をも充分に支承し、内容物を包装箱の内面から隔てているのでその緩衝効果は大きい。更に内容物は台紙に周部を接着した袋状の樹脂フィルム中に収納すると共にこの内容物を裏面から出し入れする窓を設けたので内容物を取り出した後も再包装が可能であり、この窓の両側部は裏側に折り重ねた台紙両側部で遮蔽されているので包装箱から取り出した際内容物が不測にこの窓から脱落する恐れもない。而も構造が簡単であつてコストも低廉である。

#### 4. 図面の簡単な説明

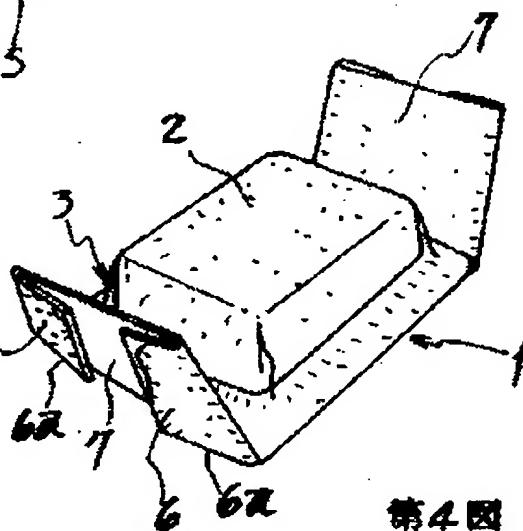
図面は本考案の一実施例を示し、第1図は台紙の型取りを示す平面図、第2図は台紙の組立て状態を示す斜視図、第3図、第4図は包装状態を示す一部切欠き断面図である。

(1) — 台紙、(2) — 内容物、(3) — 樹脂フィルム、(4) — 窓、(5) — 切込み扉、(6) — 台紙側部、(7) — 台紙端部、(8) — 包装用箱

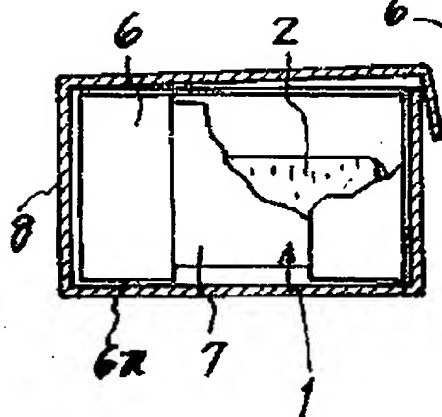
第1図



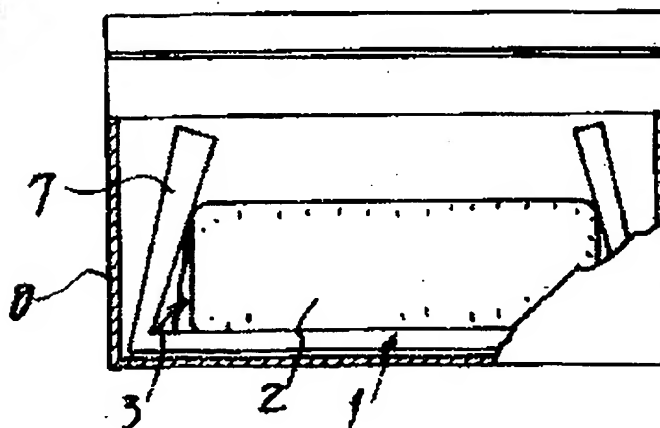
第2図



第3図



第4図



88376

代理人 森本義弘